

2013 年度 第 2 回日本獣医がん学会理事会（メール会議） 議事録

日時：2013 年 7 月 31 日～8 月 7 日正午

方法：メール会議

参加者：理事

【審議事項】

1. 世界獣医がん学会に関して

前回理事会において審議事項でありました世界獣医がん学会への参加表明に関する事案ですが、前回理事会においては会計処理方法等の情報不足により評決に至りませんでした。そこで「世界獣医がん学会招致を目指すプロジェクトチーム」（杉山大樹副会長、辻本元理事・国際情報部会長、小林哲也評議員、他）を本学会内に設置し、情報収集を行いました。その内容をまとめると以下の通りです

- 1) 会場費、講師料・旅費（国内外問わず、旅費支払い規定）、その他開催経費はどの団体が払うのか。 →JVCS、旅費規程等なし
- 2) 参加料、展示料などの収入はどの団体に入るのか。 →JVCS
- 3) 国内に関しては日本獣医がん学会単独開催なのか。 →単独（ただし、内科学アカデミーは協力してくれることを内諾）
- 4) 会場選定に制限はあるのか。 →無し
- 5) プログラム企画内容はどの団体が担当するのか。 →JVCS（海外講師招聘は VCS が全面サポート）
- 6) 本会でプログラム制作をする場合、制限及び指定（海外講師をどの程度呼ぶ必要があるのか） →無し
- 7) 全会場に同時通訳が必要なのか。 →規定無し
- 8) 招致表明に関する旅費等のコストは、どの団体もしくは個人が負担するのか →JVCS
内容を要約致しますと、主催者側にかなり自由度があり、その分「お金も会場もスポンサーも全部自分たちでどうにかする」ということのようにです。講師招聘や会場費等の支出、スポンサーからの出資額や学会参加費等の収入等の十分な費用面の見通しも立ちませんし、本学会年二回のうちの一回と見なすのかどうかなどまだまだ審議しなければ行けない事項が多々ございます。しかしながら現在の会員数や経済状態等を考えても、本会には世界獣医がん学会を開催する十分な能力があると考えております。なにより世界獣医がん学会を本会が開催するという事は、会員にとって費用以上に大きなメリットがあると考えております。以上のことから、執行部としては世界獣医がん学会の招致意思表明をするべきと考えております。審議のほどよろしくお願い致します。

理事の皆様にはお多忙な中、大変申し訳ありませんが、8 月 7 日までに御意見等を含め上記案の承認の有無を返信いただけますようお願いいたします。

なお、期日までに未返信の場合はご承認いただいたものと判断させていただき、決定いたします。

返信期限：2013年8月7日正午

返信先：office@jvcs.jp

【メール会議報告】

2013年8月18日

会長 石田卓夫

過日、2013年7月31日のメール会議にてご審議いただいた「世界獣医がん学会招致意思表明」は、白票1、その他賛成の結果により承認とした。

審議において、以下2点の意見が出された。

1) 「内科学アカデミーの協力を得ることを内諾」の内容について

世界獣医がん学会開催に際して、スポンサーや共催団体を募るかどうかなど、まだまだ審議すべき事項がある。仮に共催団体を募ることになった場合は、積極的に共催いただけるという内諾であり、金銭的な協力ではない。

2) 資金の積み立て（計2000万円程度を目処に）について

2014年1月の理事会において、2014年度予算案の審議を仰ぐこととする。

以上。